

Mid summer Concert

～詩の木陰にて～

2021 / 07 / 25 (SUN) 14:00 START

光が丘美術館

Presented by **Creative Garden "Core"**

Midsummer Concert ~詩の木陰にて~

プログラム

第一部

オペラ “つばめ”より「ドレッタの夢の歌」	G. プッチーニ
海の詩	P. チマーラ
広い河の岸辺	スコットランド民謡
夏の名残のばら	アイルランド民謡／B. ブリテン編曲
野ばら	F. P. シューベルト
蝶と花	G. フォーレ
都に雨が降るごとく	C. ドビュッシー
水の戯れ	M. ラヴェル

第二部

空山鳥語	劉天華
柳島之風	賈鵬芳
浜辺の歌	成田為三
丘を越えて	古賀政男 / 高橋編曲
ゴンドラの唄	中山晋平 / 高橋編曲
初恋	越谷達之助
夏の夜の博覧会は、かなしからずや	高橋悠之輔

解説

古来より詩と音楽は深く結びついてきました。詩は音楽を秩序づけるものであるとともに、音楽を自由に羽ばたかせる拠り所でもあります。古今東西さまざまな詩と縁ある音楽の数々をお楽しみください。

第一部

G. プッチーニ作曲「ドレッタの夢の歌」（オペラ“つばめ”より）は、詩人プルニエが自作のヒロイン、ドレッタに歌わせる愛の歌を披露するも途中で言葉に詰まり、その続きをサロンの女主人マグダが見事に歌い上げるアリアです。愛に生きることを夢見る思いが情感たっぷりに描かれています。

P. チマーラ作曲「海の詩」では、海の情景に託して、報われぬ愛への思いが切々と歌われます。スコットランド民謡「広い河の岸辺」は、河川上を舟で漕ぎ出る様子や自然の情景に喻え、愛し合う二人の心が次第にすれ違ってゆく様子が歌われます。

アイルランド民謡（B. ブリテン編曲）「夏の名残のばら」は、ベートーヴェンをはじめ数々の作曲家が自作に引用した、たいへん美しい旋律からなります。夏の終わりに咲き残るばらを自らに重ね、今は亡き仲間と共にあろうとする詩人の姿が浮かび上がります。F.P. シューベルト作曲「野ばら」はゲーテの詩による有名な歌曲です。童に手折られる野ばらは、ゲーテ自身の恋愛遍歴や他の作品の世界観との関連から、しばしば無垢な少女を我がものにしようとする残酷な恋物語ともいわれます。

G. フォーレ作曲「蝶と花」は文豪ユゴーの詩による歌曲です。蝶との恋に翻弄された花の、遠くに去ってしまった想い人への揺れ動く思いが小気味よく歌われます。C. ドビュッシー作曲「都に雨が降るごとく」は、ドビュッシーが最も愛した詩人の一人、P. ヴェルレーヌの詩による歌曲です。雨模様の光景と詩人の悲嘆に暮れた心の憂いが連鎖する響き豊かな詩で、音楽はそれを効果的に演出します。

ラヴェル作曲「水の戯れ」はピアノ独奏曲で、ラヴェル自身によると噴水や滝、小川など、さまざまな水の響きからインスピレーションを受けて作曲したこと。水のさまざまな容態が超絶技巧によって精緻に描かれた、清涼感のある一曲です。

第二部

劉天華作曲「空山鳥語」は、王維の詩に基づく二胡独奏曲で、山中に響きわたるこだまや鳥の鳴き声など、描写的な旋律もふんだんに取り入れられ、二胡のさまざまな奏法が鮮やかに繰り広げられます。「柳島之風」は二胡奏者の賈鵬芳による作曲で、夕風に川岸の柳が揺れる光景が描かれています。二胡は抒情的な旋律を力強く歌い、ピアノは優しく寄り添うように奏でられます。

自然の情景と追憶が描かれた「浜辺の歌」（林古溪作詞／成田為三作曲）、希望に満ちあふれた「丘を越えて」（島田芳文作詞／古賀政男作曲）、愛に燃える「ゴンドラの唄」（吉井勇作詞／中山晋平作曲）、恋の痛みを追憶する「初恋」（詩：石川啄木／越谷達之助作曲）は、高橋悠之輔の編曲により、歌・二胡・ピアノの編成でお聴きいただきます。

最後を飾る「夏の夜の博覧会は、かなしからずや」は、高橋悠之輔の新作です。亡き子との思い出が綴られた中原中也の詩には、何気ない日常の光景から甦る淡い喜びと、それが喪失した悲しみが繰り返し思い起こされています。3連符が印象的な旋律によって中也の詩が美しく歌われますが、ときとして言葉にならぬ思いは二胡やピアノに託され、悲しみにも様々なかたちがあることを物語ります。

（成田麗奈／音楽学）

出演者プロフィール

飯田映理子（ソプラノ）

東京音楽大学声楽科卒業、二期会オペラ研修所修了。大島洋子氏、川上洋司氏に師事。さいたまシティオペラ会員。島村楽器声楽科講師。オペラ出演は「コジ・ファン・トゥッテ」デスピーナ役、「ドン・パスクアーレ」ノリーナ役など。

学校、公民館、病院、介護施設など首都圏でのコンサート活動はクラシック、ミュージカル、歌謡曲、唱歌やアニメ、映画の曲など様々なジャンルを取り入れたプログラムで好評を博している。他にもキャンペーンソングやラジオCM、英米戯曲のリーディング公演に出演するなど活動は多岐に渡り、後進の指導にも力を入れている。

2021年よりYOUTUBEに「ELLY GARDEN」チャンネル開設

寺岡拓士（二胡）

二胡奏者賈鵬芳氏の音色に魅了され、2000年より二胡を始める。その後アコースティックギターとのデュオを中心演奏活動を開始。

2009年よりピアノ、二胡、津軽三味線、リズムタップダンスとのユニット「HALE to KE」に参加。南青山マンダラでのライブを中心に、ホール公演、各地のイベントや小中学校の芸術鑑賞会などでも演奏し、これまでに3枚のアルバムを制作。

2015年より自身の二胡教室を主宰。

高橋悠之輔（ピアノ・作曲）

作曲家、ピアニスト、脚本家、舞台監督、マーケター、CreativePot音楽教室主宰。

1999年、東京芸術大学音楽学部楽理科入学以降、現代音楽、作曲、ステージパフォーマンスなどに強い関心を持って研究してきた。

在学中より自主的な演奏会、演劇公演などを主宰。テキストと音楽の創造的な関係について思索を巡らす。

当時より地域密着型の芸術祭・音楽祭の重要性を学び、将来はそういった事業にかかりたいと考え、今日に至る。

これまで都内で、音楽制作、ミュージカル制作、演劇・音楽祭制作や舞台監督として活動する。

自身の創作活動としては、舞台作品5本、音楽劇2本、オペラ台本1本の他、インターネットラジオドラマ付曲、ネットニュース番組用BGM、各種演奏会用新曲及び編曲など多数。

Creative Gardenとは

Creative Gardenは、国内で活躍する音楽、美術、演劇、文学、学問などの担い手が協同して運営するセミパブリックな空間を指し、それを設立するための構想そのものを意味します。音楽、美術、文学など様々な分野の専門家が対等で創造的な関係を築くことで、内部でのイノベーションを促し、創造の磁場を形成するのが我々の理想です。

2021年に我々は「Creative Garden "Core"」という団体を設立し、公演活動のプロデュースを行うことを決め、本演奏会がそのはじめの一歩となります。

今回、新型コロナウィルスの感染拡大防止に努めるため、客席の削減、チケットの電子化、有料動画配信などを実現しました。さらに二胡とクラシックのコラボレーションを通じて、新たな価値の創造に挑戦しました。